



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴田 高

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 吉川 友貞

TEL 06-6382-1135

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,835	20.1	1,294	55.5	1,345	59.6	1,247	77.5
24年3月期第3四半期	4,858	32.9	832	—	843	—	702	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,251百万円 (82.8%) 24年3月期第3四半期 684百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	97.57	96.22
24年3月期第3四半期	54.32	53.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,674	9,619	75.4
24年3月期	12,261	8,783	71.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 9,560百万円 24年3月期 8,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	6.2	850	65.2	900	61.2	730	51.6	57.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	13,071,600 株	24年3月期	12,984,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	390,179 株	24年3月期	126 株
----------	-----------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	12,786,415 株	24年3月期3Q	12,941,219 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。平成25年2月12日付にて、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要等を背景に緩やかに持ち直しつつあるものの、長引くデフレや円高に加え、欧州債務問題や中国経済の失速等、世界経済の減速懸念もあり、依然先行き不透明な状況で推移致しました。

この様な状況の下、当社グループの連結経営成績は、以下の通りとなりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、医薬品事業及び感染管理事業が各々前年同期を上回ったことから、対前年同期比976百万円増(20.1%増)の5,835百万円となりました。医薬品事業におきましては、国内向け出荷は前年同期を下回ったものの、海外向け出荷が堅調に推移致しました。また、感染管理事業におきましては、当第3四半期(10月から12月)の出荷が著しく伸長したことから、売上高は、前年同期を大幅に上回る結果となりました。

売上総利益は、製造原価の増加や売上高の構成比の変化に加え、返品調整引当金繰入額の増加等により、前年同期に比して原価率が上昇したものの、増収による効果から、対前年同期比460百万円増(13.8%増)の3,796百万円となりました。また、営業拠点(東京)移転に係る賃借料増加等に対し、販売費や人件費が前年同期を下回ったことから、販売費及び一般管理費は、対前年同期比1百万円減(0.0%減)の2,501百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は対前年同期比462百万円増(55.5%増)の1,294百万円となり、経常利益は対前年同期比502百万円増(59.6%増)の1,345百万円となりました。また、前年同期に比して法人税等及び法人税等調整額が増加したものの、前年同期は特別損失140百万円(退職給付制度改定損や不動産に係る減損損失等)の計上があったことから、四半期純利益は、対前年同期比544百万円増(77.5%増)の1,247百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては以下の通りであります。

(医薬品事業)

国内向けにつきましては、止瀉薬市場が停滞する中、特に当社製品『正露丸』の店頭販売が落ち込んだこと等を背景に、国内向け売上高は前年同期に比して減少致しました。最需要期である第2四半期(7月から9月)において堅調に推移した主力の『セイロガン糖衣A』につきましても、当第3四半期の出荷は、前年同期を下回る結果となりました。一方、海外向けにつきましては、懸念された日中関係の動向による現地販売活動への深刻な影響は見られず、中国市場では『正露丸』に加え、前連結会計年度より出荷を開始した『セイロガン糖衣A』の販売も増加致しました。また、香港市場においても販売が堅調であったことから、主力市場の牽引により、売上高は前年同期を上回りました。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の医薬品事業の売上高は、国内向けの減少を海外向けの増加で吸収し、対前年同期比65百万円増(1.6%増)の4,074百万円となりました。一方、損益面につきましては、製造原価の増加(賞与引当金や修繕費等が前期から繰越された影響等)や売上高の構成比の変化(海外向け売上高比率の上昇)等による原価率の上昇等から、医薬品事業のセグメント損益は、対前年同期比205百万円減(10.8%減)となる1,692百万円の利益となりました。

(感染管理事業)

ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生や季節性インフルエンザの流行開始等により、感染症に対する衛生対策意識が秋口以降高まる中、TVコマーシャル放映や小売店に対して早期に実施した営業施策等が奏功し、『クレベリンゲル』や『クレベリンスプレー』を中心とする一般用製品の売上高が前年同期に比して大幅に伸長致しました。当第3四半期には、一般用製品の新たな販売チャネルとなる大手調剤薬局事業会社を通じての販売も開始しております。また、業務用製品につきましても、ゲル剤や『クレベリン発生機』等の販売が伸長し、当第3四半期連結累計期間の感染管理事業の売上高は、対前年同期比914百万円増(109.9%増)の1,746百万円となりました。損益面につきましては、返品調整引当金の繰入額が増加したものの、売上高の伸長により、売上総利益も顕著に増加したことから、感染管理事業のセグメント損益は、前年同期に比して大幅に改善し、対前年同期比536百万円増の513百万円の利益(前年同期は23百万円の損失)となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行いました。売上高は、対前年同期比3百万円減(21.3%減)の14百万円となり、セグメント損益は、対前年同期比1百万円減の15百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における資産合計は12,674百万円(前連結会計年度比413百万円増)となりました。また、負債合計は3,055百万円(同422百万円減)、純資産合計は9,619百万円(同835百万円増)となりました。前連結会計年度からの主な変動要因は、現金及び預金の減少の一方、売上債権の増加等による流動資産400百万円の増加、未払金の減少等による流動負債385百万円の減少、また、自己株式取得による減少の一方、四半期純利益による利益剰余金の増加等による純資産835百万円の増加であります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度から4.2ポイント上昇し、75.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年2月7日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて、修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更等

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,661,298	4,217,113
受取手形及び売掛金	2,443,154	3,408,554
商品及び製品	471,702	404,204
仕掛品	640,128	637,151
原材料及び貯蔵品	240,898	199,361
その他	273,275	271,738
貸倒引当金	△18,161	△25,003
流動資産合計	8,712,297	9,113,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,072,729	1,026,307
機械装置及び運搬具(純額)	240,355	258,304
土地	1,397,788	1,397,788
その他(純額)	151,396	184,963
有形固定資産合計	2,862,270	2,867,363
無形固定資産	59,753	47,618
投資その他の資産	626,913	646,651
固定資産合計	3,548,937	3,561,632
資産合計	12,261,234	12,674,752
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	387,106	596,441
未払法人税等	15,113	99,381
返品調整引当金	239,000	391,000
賞与引当金	219,920	52,906
役員賞与引当金	96,666	—
その他	1,447,521	879,874
流動負債合計	2,405,328	2,019,603
固定負債		
退職給付引当金	476,241	463,099
役員退職慰労引当金	8,500	—
長期未払金	565,700	562,700
その他	21,883	9,833
固定負債合計	1,072,325	1,035,632
負債合計	3,477,653	3,055,236

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	155,437	178,169
資本剰余金	66,666	89,398
利益剰余金	8,630,439	9,683,223
自己株式	△204	△281,714
株主資本合計	8,852,338	9,669,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,597	18,856
為替換算調整勘定	△132,324	△127,127
その他の包括利益累計額合計	△112,727	△108,270
新株予約権	43,969	58,711
純資産合計	8,783,580	9,619,516
負債純資産合計	12,261,234	12,674,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,858,589	5,835,287
売上原価	1,468,808	1,887,028
売上総利益	3,389,781	3,948,259
返品調整引当金戻入額	246,000	239,000
返品調整引当金繰入額	300,453	391,000
差引売上総利益	3,335,328	3,796,259
販売費及び一般管理費	2,503,071	2,501,949
営業利益	832,256	1,294,310
営業外収益		
受取利息	1,381	2,387
受取配当金	1,513	1,546
受取賃貸料	3,747	6,386
為替差益	—	36,867
受取保険金	7,980	3,691
その他	12,549	7,273
営業外収益合計	27,173	58,153
営業外費用		
為替差損	14,954	—
支払手数料	—	4,145
その他	1,140	2,613
営業外費用合計	16,094	6,759
経常利益	843,335	1,345,704
特別損失		
減損損失	35,298	—
災害による損失	5,432	—
退職給付制度改定損	100,017	—
特別損失合計	140,747	—
税金等調整前四半期純利益	702,587	1,345,704
法人税、住民税及び事業税	14,870	89,763
法人税等調整額	△15,254	8,399
法人税等合計	△383	98,163
少数株主損益調整前四半期純利益	702,971	1,247,541
四半期純利益	702,971	1,247,541

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	702,971	1,247,541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,014	△740
為替換算調整勘定	△21,228	5,197
その他の包括利益合計	△18,214	4,456
四半期包括利益	684,757	1,251,998
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	684,757	1,251,998
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果及び単元未満株式の買取りにより、自己株式が281,510千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が281,714千円となっております。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,008,708	831,904	17,976	4,858,589	—	4,858,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,008,708	831,904	17,976	4,858,589	—	4,858,589
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,898,290	△23,112	△13,356	1,861,821	△1,029,564	832,256

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,029,564千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,029,564千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医薬品事業」及び「感染管理事業」セグメントの資産において、土地等の譲渡契約の締結に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては35,298千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,074,589	1,746,542	14,155	5,835,287	—	5,835,287
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,074,589	1,746,542	14,155	5,835,287	—	5,835,287
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,692,528	513,072	△15,325	2,190,275	△895,964	1,294,310

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△895,964千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△895,964千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載の通り、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益又はセグメント損失(△)に与える影響額は軽微であります。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。